



**N.S.ニュース速報A**

**NSDAP/AO : PO Box 6414**

**Lincoln NE 68506 USA**

**www.nsdapao.org**

#1075

22.10.2023 (134)

## 国民共同体とエリート主義の間のリーダーシップ

**From Michael Kühnen**

### **ERNST RÖHM**

ルドルフ・ヘスが白人世界の国家社会主義者の思想界で議論の的になっているのと同様に、エルンスト・レームも同様に議論の的になっている。しかし、SA参謀長もまた、ルドルフ・ヘスとはタイプが異なるとはいえ、国家社会主義の偉大な指導的人格の一人である。しかし、まさにこのことは、国家社会主義の指導者の範囲がいかに広いかを示すものである。

エルンスト・レームは、他の誰よりも、国家社会主義におけるSA、ひいては政治的兵士の偉大さと悲劇を体現している。参謀長は、偉大な反逆者、あらゆる抵抗を打ち破ったランツクネヒトのリーダー、生まれながらの革命家、ブルジョアブルジョアに対する戦士、情熱による兵士だった。

彼は、限りない献身と犠牲、決して衰えない意志力、部下に対する限りない同志愛によって、荒々しいSA戦士たちの心をつかみ、SAを勝利を収め第三帝国を可能にする党の革命的な道具に鍛え上げました。

1933年秋の帝国党大会において、エルンスト・レームはアドルフ・ヒトラーと並んで、運動の戦死者を弔うために歩いた。これは、総統が唯一の親友であり、最もタフで成功した戦士の仲間感謝し、認めていることの象徴的な表現であった。

1919年のミュンヘンの荒々しい日々、国家的動乱のために密かに工廠を守り、「ベルリンへの行進」のための革命的軍隊の形成に精力的に取り組んだ強力なライヒスヴェール隊長レームは、当時まだほとんど知られていなかった小さなNSDAPの党首をすでに昇進させ、黨員同志となって、新しい部下たちをどんどんSAへと導いていたのだ。レームがついに成功し、さまざまな革命的軍隊が統一された「ドイチェ・ケンプフブント」を形成したとき、彼はまた、アドルフ・ヒトラーの政治指導のもとに身を置くように説得した。こうしてアドルフ・ヒトラーは、レームの支援を受けて、1923年にすでにドイツの国家再生の重要人物となり、その後もそうあり続けることになった。

エルンスト・レームは、国家共同体の中で兵士に正当な地位を与えようとした情熱的な兵士であり、基本的には、戦闘員の中に真の人間を、兵士部隊の中に国家革命の道具を見るだけだったが、それでも、誰よりも早く、兵士は政治的にならねばならず、政治指導者に従属しなければならないということに気づいたのだ。

エルンスト・レームにとって、個人的な野心は異質なものだ。彼は自分の目標のために、そして、彼が運命に選ばれた者、アドルフ・ヒトラー総統を認めた男のために戦ったのだ。

1923年11月9日の民族蜂起は失敗に終わった。エルンスト・レームは、この事件への関与と蜂起未遂の準備における絶対的に決定的な役割にもかかわらず、何とか法的有罪判決を免れた。彼はまだ現役のライヒスヴェール将校の制服に守られており、上官のことを知りすぎていて、ライヒスヴェールの体制と秘密に対する彼の揺らぐような忠誠心もあった。こうして彼は仕事を続けることができ、1923年以降、今は禁止されているSAの指導権を引き継ぎ、その法的隠れ蓑として、フロントバンという新しい強

力な軍事組織を創設した。しかし、アドルフ・ヒトラーは、失敗した蜂起から異なる、そして正しい結論を導き出し、法的・政治的闘争を支持することを決定したのである。

エルンスト・レームは、総統と党に忠実であったが、その全人格からこの決定の正しさを認識することができず、SAの指導者を辞し、その後ポリビア軍で軍事訓練の仕事に就いた。このようにして、彼は党の指導部と一般的な政治路線に対する規律を示し、自分が真に国家社会主義者の指導者であることを証明したのである。彼は、自分の責任を自覚し、この道には他の人たちの方が適していることを理解し、邪魔をすることを望まなかった。彼は、政治的に築き上げたものをすべて放棄し、党が再び彼を必要とするまで身を引いていた。

1930年末、選挙で大成功を収め、NSDAPを第二の強党とし、そのSAを抵抗できないほど膨れ上がらせた後、当時のSA指導部は闘争の新しい段階の必要性に対処できないことがわかった。

アドルフ・ヒトラーは、旧友であり闘士であったエルンスト・レームを呼び戻し、エルンスト・レームは、躊躇することなく、すぐにやってきた。かつて彼が責任感から政治的にすべてを犠牲にし、邪魔にならないように引きこもったのなら、今度は党が再び彼を必要とし、総統が彼を呼んだので、彼は安全な個人の存在をあきらめたのです。権力の掌握に至るまでのこの決定的な年月とそれ以後は、SA史の永遠の栄光となり、参謀総長の名前と人格と切っても切れない関係にある。

1933年から34年にかけて、総統は、ドイツのすべての新聞に掲載された感謝の辞と新年のメッセージの中で、レームの国家社会主義革命に対する「不滅の奉仕」を賞賛し、これを認めた。総統の言葉で締めくくられている。

「国家社会主義革命のこの年の終わりに、私はこのように強く要請されました。あなた方のような人たちを友人や戦友と呼ぶことが、いかに運命的にありがたいことであるかを断言するために。暖かい友情と感謝の念をこめて。

あなたのアドルフ・ヒトラー"

そのわずか7ヵ月後、反動による陰謀によって、参謀長は転覆し、最も優秀で忠実なSA指導者たちとともに射殺された。これらの出来事と、ノイエ・フロントという我々の共同体におけるその評価については、別の場所で様々な機会に報告してきた。なぜなら、エルンスト・レームの指導者としての人格に新たな光を当てるものではなく、革命と反動という不倶戴天の対立が常に宿命の敵であるという話題につながり、参謀長はこの宿命の敵意の犠牲になったからです。彼もまた悲劇的な人物であった。なぜなら、彼なしにはほとんど勝利できなかったであろう運動の名において、また、彼が友人として、戦友として深く傾倒し、その名を口にして死んだ大統領の命令によって、自分の同志の手によって倒れたからである--遅すぎた反動の策略によって、見破られて倒れたのだった。

この時点で、要約すると、参謀総長の警告と考えは結局正しかったこと、第三帝国の失敗は1934年6月30日の悲劇と因果関係があることを、もう一度指摘するだけでよいだろう。

「レーム・プッチ」とは、エルンスト・レームと国家社会主義革命に反対するプッチであり、総統をあまりにも多くの分野で、行政、経済、とりわけ歴史上最初の国家社会主義人民国家を裏切りによって崩壊させたライヒスウェールの反動勢力に依存させるものであったのだ。

この偉大な闘士であり反逆者であり、SAの参謀長であったこの国家社会主義者の指導者に対する我々の取り返しのつかない情熱的なコミットメントは、俗人や物知りの間で論争が続くかもしれない。しかし、我々にとってそれは、反動との闘いの最も厳しい宣言であり、第二革命の完成への宣誓である!私たち新戦線の共同体は、復帰した参謀長の命日である6月30日を、反動との闘いの日として宣言したのである。

## **DR. ヨーゼフ・ゲッベルス (JOSEF GÖBBELS)**

NSDAPの帝国宣伝指導者、帝国大衆啓蒙宣伝大臣、最後のドイツ帝国首相であるゲッベルス博士は、私たちが特に尊敬する国家社会主義の歴史的指導者の3人目である-党员であるヘースやレームとは全く異なる性格だ

が、やはり国家社会主義の模範的指導者の性格である。

総統の副官、義務と任務のために自らを犠牲にする政治指導者、情熱的な  
党員、そして参謀長、あらゆる抵抗を突破し、息苦しい規範に反抗し、マ  
イナス世界に対して意識的に革命的である生命力あふれる政治兵士・指導  
者の次には、第二次世界大戦で唯一の無敗のドイツ軍司令官と呼ばれてい  
る優れた弁士・宣伝マンが登場します。

ゲッペルス博士は、家庭戦線の士気、ドイツ国民の忍耐の意志、義務感、  
指導者との信頼関係を目覚めさせ、強化し、維持する責任を負っていた--  
そして彼は、天才的な、決して衰えない意志力、想像力、疲れ知らずで自  
己犠牲的な仕事と絶え間ない行動態勢によってこの任務を遂行した。しか  
し、家庭戦線は総統の側にいた。偉大な勝利の感動的な高揚のときだけで  
なく、運命の天秤が揺れ動く不安な月日にも、そして瀕死の帝国の最後の  
日にも、国民は指導者への信頼と今後長い間ドイツの未来を決定する運命  
的闘いの自覚をもって働き、戦い、犠牲になり、死んでいった。これは、  
何よりもまず、ゲッペルス博士の功績によるものである。

彼の揺るぎない忠誠心と、未来へのプロパガンダ的な影響力が、家族や子  
供たちとともに最後の思いを抱き、前代未聞の犠牲的な死を迎えたこと  
は、すでにここで以前のセクションで報告したとおりである。

ルドルフ・ヘスは、生き埋めになる前の最後の公の場となったニュルンベ  
ルク勝利裁判での最後の言葉が、"*I have no regrets!*"という誇らしい一文に  
集約されている。- エルンスト・レームは、"*Mein Führer!*"という言葉も口  
ずさみながら死んでいった。ゲッペルス博士は、1945年の総統の誕生日に  
行った最後のラジオ演説で、アドルフ・ヒトラーへの信頼を表明し、ヒト  
ラーの数時間後に自ら犠牲の死を遂げ、妻と子供たちもその後続いた。  
彼らは皆、国家社会主義指導者の真のモデルであり、NSDAPの党綱領が  
要求するように、死ぬまで犠牲を払うという忠誠心と意志に満ちて生きて  
死んだ。

彼らは誰一人として個人的な権力にこだわらず、誰一人として個人的な目

的のために権力を乱用せず、誰一人として人民やその支持者との接触を失わず、彼らは皆、人民の同志であり同志であり続けた。彼らは皆、マイナス世界に対する巨大な蜂起の悲劇的な人物であり、最初の試みで失敗し、後世のモデルとしてのその力は、最終的かつ完全な結果、自らの命を犠牲にすることで最も明確に証明される。

しかし、ゲッペルス博士もまた、死後のロールモデルとしてだけでなく、最初の闘争期と政権を握った数年間の国家社会主義指導者としてもそうである。

ゲッペルス博士は1920年代半ばにNSDAPに入党し、党内で粘り強く細々と出世していった。西ドイツの地区で小書記や疲れを知らない集会演説者から、帝国の首都のガウライターの職に就き、非常に真剣に取り組んで死ぬまで保持した。ベルリンを征服して国家社会主義のための帝国の赤い首都を獲得し、帝国宣伝部長、帝国大臣、最後は失脚後の首相へと、彼の運命は続いた。名もない学生で無一文の学者が宣伝の達人にまで上り詰めたのは、彼の天才的な才能と、ドイツの民族精神と世論の流れに対する繊細で深い芸術的な感覚と同様に、懸命でたゆまぬ努力の賜物である。

プロパガンダは、彼にとって芸術であると同時に科学であり、その両方の側面において、彼はそれを底辺から習得した。彼は党の急進的な社会革命派に属し、生涯を通じて冷酷な反ブルジョア革命家であり続け、1934年以降第三帝国が行った反体制との妥協に深く苦しんだが、総統と定められた党路線への忠誠心は決して揺るがなかった。

総統が戦争中ますます軍事問題に埋没し、ほとんど公の場で発言せず、国家や党の指導に関する問題にほとんど関心を持たなかったのに対し、ゲッペルス博士は、個人的野心からではなく、自分の能力を知り、無条件の忠誠心から生まれた責任感から、このギャップを埋めようとした。ゲッペルスは、戦争の間、指導者が戦争の遂行を自分でコントロールしなければならないのであれば、政府の実務を他の人に任せることが必要だと考え、自分がその目的に最も適した人間であると正しく信じていたのだ状況が悪化すればするほど、この小さな医師の責任感は大きくなった。この医師は、どこにいても現場にいて、誰もやりたがらない仕事をすべて引き受けた。

最後まで国民と向き合い、爆撃を受けた都市に行き、袂を分かった爆弾被害者に話しかけて、新しい熱意をかき立てるのは彼だった。彼は民間航空防衛を担当した。1944年7月20日以降、ほぼ無制限の権限を与えられていたのだった。1944年7月、総戦争努力総監としてほぼ無制限の権限を与えられ、最後に-かなり遅かったが-総統の意志で後継政府の帝国首相に任命された。

しかし、彼にとってのすべての権力は、あまりにも小さく、遅すぎたのだ。ゲッペルス博士は、没落に対して全身全霊で身構えたが、その力は十分ではなかった--彼が外相や首相を目指したのは、自分を前面に押し出すためではなく、まだ運命の流れを変えることができる信じていたからだ。しかし、彼に挑戦するチャンスはなかった。ゲッバイスは、帝国がまだ自国の運命を形成する力を全体的にも部分的にも持っている限り、党の方針と政府の政策の代弁者であり続け、プロパガンダ以外の実行力を持たなかった--そして彼が次第に全権を握ったとき、独自の政策をとるには手遅れだった。

彼の失脚によって帝国首相となった革命家は、その治世の数時間のうちに、来るべき急進的な社会主義者を呼び込んで、ドイツとロシアの共同指導のもとにヨーロッパを統一し、スターリンに一方的な休戦と同盟の逆転を申し入れた。しかし、それは遅すぎた。それは、この偉大な革命家が長い間正しいと信じていた政策の最後のジェスチャーであったが、帝国は落ち込んでおり、ロシアの「ボーズ」（スターリンが好んで呼ぶ「総統」）に対してこれ以上何も提供できなかつたのである。数時間の待機とベルリンでの一時休戦の後、モスクワからドイツの提案の拒否と無条件降伏の要求が出された。彼の妻は、総統と国家社会主義的造語のない戦後の被支配国ドイツでの生活は、耐え難く、無意味で、価値がないと、自分自身と子供たちに代わって宣言したのである。

そして、それが実現したのです今日のマイナス世界であるFRG社会で、人生に価値と意味を与えることができるのは、勝利者の体制と世界に対するたゆまぬ闘いと完全な個人的コミットメントであり、そのための手本となるゲッペルス博士の人生と態度は、恐れを知らない心を持った小さ

な医者として、私たちに力を与えてくれます



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFGRUPPE DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION  
November 1934  
April 1937

**Der Kampf geht weiter !**

Seitlang haben nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 die nationalsozialistische Bewegung wieder ein zu jenen in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!  
Menschen von Moskau, Venedig, Vordringung und Vordringung haben nicht nur erreicht, den Kurs der gesamten Welt umsetzen half geführten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind sonstige öffentliche Führer und Kameradschaftlichen Führer als Schüler im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.  
Die Bewegung ist eine wieder gewonnen, aber die Größe des biologischen Volkstum ist keine auch und gewinnen es in der Vergangenheit.  
Die vornehmste Aufgabe ist aber dabei, das Volkstum – gegen alle weißen Völker (1) – zu bringen. Seine Mittel sind Erziehung, Charakterbildung und Kameradschaft.  
Ob "legal" oder "illegal", ob im "Wahlkampf" oder im "Streikkampf", ob im "Propagandakampf" bzw. auf einem Schulhof mit anderen Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!  
Hitler!  
Goebbels!  
Ludwig!



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005 19.06.2022 (133)  
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー  
第3部

NSDK 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。  
このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。  
モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningthecent.com/truth.html](http://www.mourningthecent.com/truth.html))に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情願の増進期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**  
Number 176 (132) February 2012 April 26, 2012 (133)

**The Fight Goes On !**

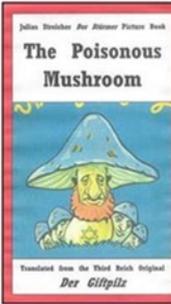
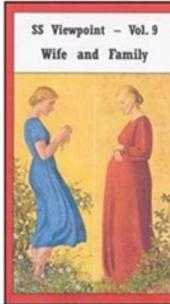
Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.  
Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.  
All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.  
The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.  
The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and neo-racism.  
Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!  
Hitler!  
Goebbels!  
Ludwig!



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト

|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>SS Defender<br/>against Bolshevism<br/>by Reichführer SS Reichführer Himmler<br/>FOR DENMARK!<br/>MOD BOLSEVISMEN!<br/>Translated from the SS Original</p>  | <p>Julian Stelcher der Führer Führer Book<br/><b>The Poisonous Mushroom</b><br/>Translated from the Third Reich Original<br/><i>Der Giftpilz</i></p>  | <p>Reinhold Beckmann<br/><b>Hitler in Italy</b><br/><b>HITLER in ITALIEN</b><br/>English / German Deutsch / English</p>  | <p>SS Viewpoint – Vol. 9<br/>Wife and Family<br/>English / German Deutsch / English</p>  | <p>Theodor Fritsch<br/><b>The Sins of High Finance</b><br/>INURSE!<br/>English - German / Deutsch - English</p>  | <p><b>Luftwaffe War Art</b><br/>Die Luftwaffe im BMD<br/>English - German / Deutsch - English</p>  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to find out how YOU can help!